

国内外ゴルフツアー記 前編

国内ツアー記②

廿日市市本町／外科・胃腸科

芸南医師同好会 第2代会長 藤解 堯文



芸南医師同好会
会報 no.242
(題字は筆者)

芸南医師同好会会報 No.242 (2020年版、後編 2021年3月20日発行)に掲載された同原稿を藤解先生のご許可を得て、数回に分けて連載します(今回はその第2回です)。

なお、文中のGMAは芸南カントリー倶楽部の医師同好会「芸南医師同好会」の略称です。

2007年 寄稿文(再掲載)

平成19年の忘年会で年間MVP、ベストグロス賞など賞を沢山いただいた。当然原稿は免れない。今年の会報担当幹事の細田先生がこの会報に対する入れ込み様はスゴイと感じていたし、現にその実績も上げ今までになく充実していて読んでいて楽しい。その熱意を尊敬していた。その細田先生より、私の上記受賞分のノルマについては、私の過去の

数々の内外ゴルフツアーにまつわる諸々のことについて書いてほしいとの注文があった。字数に制限はつけないとも言われている。さすが、彼の眼のつけどころは違う。彼のゴルフの聖地セントアンドリュース、アイルランド巡りや世界で人気1のペブルビーチゴルフクラブ旅行記にはかなわないし、彼ほどのこだわりもない。しかし私もゴルフツアーは大好きで今まで随分と内外あちこち出歩いたの



2016年日本プロゴルフ選手権開催 北海道クラシック G.C



小樽 C.C

で、彼のこの会報に対する熱意に応えるという意味も込め、かついい機会を与えられたのでこれを期に私自身の『ゴルフツアー記』としてまとめてみることにした。

勤務医中も学会等を利用し、また学会と称して遠征はしていた。GMA に入会して4年、昭和54年にシングル入りし翌年の秋に開業。以来約27年間ずっと年末年始、ゴールデンウィーク、盆休暇を我が家で過ごした記憶はほとんどない。2人の子供達が受験期

に入るまでは家族で全国各地を家族旅行し、家族サービスのノルマを果たし終え、受験期に入ると家には邪魔な私は家を追い出され(?)、家族の誰の非難も浴びずして全国ゴルフツアーの始まりとなったのである。旅のパートナーは、GMA やうぐいす会の親友の仲間が中心のことが多く、他に家族(特に家内が)が合流することも度々あった。資料はわずかしか残しておらず、そのほとんどは記憶に辿るしかなくて多少正確さに欠ける部



桂ゴルフ倶楽部



ニドムクラシックコース

分もある。

記憶喪失、ボケが始まる前と思われるこのタイミングに良い機会を与えてくださった細田先生にお礼を申し上げます。

遠征の詳しい年月日については詳細な記録を残していないが、国内編と海外編とに分け、さらに国内編を大きく地域別に分けて、ゴル

フツアーでのいろいろな思い出、エピソード、アクシデント、ホテル、食事、観光等の記憶に残る印象的な事柄等を羅列して回想録とします。これが皆さんの今後の旅の参考の一助にでもなれば望外の喜びとするものであります。



札幌 G.C 輪厚コース



恵庭 C.C

国内編～北から順に南下します

《北海道》

なんといっても素晴らしい自然と食べ物の美味しさは皆さんご存知の通り。

夏涼しいので、もっぱら盆休暇はほとんど北海道で毎回3ラウンドしてきた。北海道のゴルフ場で共通するのはフェアウェイがフラットで広く、かつペント芝なので芝の上から打つのは難しい反面、ターフが草履のようにとれて気持が良いということ、そしてセパレートされている林が本土のように松林でなく、多くは綺麗な白樺林ということであろう。

◎千歳空港エリア：この周辺はゴルフ場銀座でたくさんの良いゴルフ場がある。北海道で一番の人気はジャックニクラウス設計の『北海道クラシック G.C』である。毎回このエリアに行くときは必ずといっていいほど行っているから、もう数回は行っていることになる。一番好きなゴルフ場であり、文句なしに良い。ペント芝のフェアウェイは広くふわふわの絨毯のように厚い。美しい中にも戦略性に富んでいて何度行っても飽きない。私の知っている限りではトップクラスのゴルフ場である。次いで日本オープン2回開催の名門



北海道ブルックスカントリークラブ



北海道 CC 大沼コース

『小樽 C.C.』(2回)、『桂 G.C.』(4回)、日本マッチプレー選手権会場の『ニドムクラシック G.C.』(4~5回)、毎年全日空オープン開催の『札幌 G.C. 輪厚コース』(3回)、『恵庭 C.C.』(3~4回)、『北海道ブルックスカントリークラブ』(湿地帯の中に造られたユニークな

コース) とかが良いコースで、好きである。

その他 10 か所くらいは行っているがどこもあまり“外れ”はない。千歳市の「札幌ジンギスカン」のジンギスカンの味は忘れられない!!

(つづく) (とうげ たかふみ)

